

## 月刊 アカサス ニュース

第36号 1999(平成11年).6

「アカサス」とは、古代ギリシャ・ローマに由来し、金沢大学の校章にも使われている植物の名称(和名「ハアザミ」)です。



## 金沢大学創立50周年を迎える

～角間から世界へ 未来文化の創造を～

トップニュース Top News



鏡開きで50周年を大いに祝う  
= 5月29日、金沢全日空ホテル(金沢市昭和町)で

創立50周年を記念して本学では、5月29日、市内のホテルを会場に記念式典と祝賀会を開催し、卒業生や関係者約600人が50年の歴史を振り返るとともに、地域に開かれ、世界にはばたく本学の未来に期待を込めた。

式典では、岡田晃学長の式辞の後、佐藤禎一文部事務次官が有馬朗人文部大臣の祝辞を代読し、来賓の祝辞が続いた。また、「金沢大学の過去・現在・未来」と題したCGアニメーションによる50年後の本学の未来像が示され、出席者の注目を集めた。午後から行われた祝賀会では、森喜朗自民党幹事長をはじめ、谷本正憲石川県知事、山出保金沢市長などが出席し、鏡開きで節目の年を祝った。



懐かしい顔ぶれが一同に会した記念式典の様子  
= 同上



佐藤禎一文部事務次官



蓮實重彦国立大学協会会長  
(東京大学総長)



金子曾政元学長



ナイール ザモフカザン大学  
第一副学長(ロシア)



福光博創立50周年記念事業  
後援会会長(株)福光屋会長)





巻頭言

悠々として急ごう



学長補佐（企画担当）

中島 史雄

（法学部教授）

創立50周年記念事業は、記念式典・祝賀会を中心に、一部の事業を残しながら、学内外の多くの方々のご協力をいただいて盛裡に終えることができた。しかしながら、私たちには、祭りの後の余韻に浸っているいとまがない。

周知のとおり、昨年10月の大学審議会答申「21世紀の大学像と今後の改革方策について」において、高等教育機関の多様化・個性化 教育研究の質の向上 大学の自律性・主体性の確保 組織運営体制の整備 第三者評価システムの導入につき、大学の体質改善を求められており、さらに、「学校教育法等の一部を改正する法律案」が5月21日の参議院本会議で可決成立して来年の4月1日から施行される運びとなった。国立大学の独立法人化への対応が当初言われていた平成15年を目途とするというのではなく、むしろ来年の概算要求時に各大学の具体的な改革案が大学審答申対応と併せて問われるものと認識すべきだからである。

すでに学部・大学院問題検討委員会で課題認識されている学部と大学院（修士課程と博士課程）の関係について、自然科学系、医学系および人文・社会系の差異と共通性の相互

理解を前提としながら、各学部・大学院において、研究者養成機能の強化（博士課程の重点化）大学院教育の目的・機能の多様化（博士課程・修士課程共通）社会人・留学生教育体制の整備・強化（大学院・学部共通）学部教育と大学院教育の連携・整備 学部教育と教養教育機構との連携・整備を中心にとりまとめを急ぎ、主体的な金沢大学像のマスター・プランを形成する必要がある。

金沢大学の運営体制の整備、自己点検・評価および学外有識者による運営諮問会議の設置については、胎動段階のものもあれば、すでに実行されているものもある。とりわけ第三者評価機関の設置に社会的関心が集まっているが、これまで各学部や研究所を中心として実施してきた「自己点検・評価」および「学外有識者との懇談会」（平8～11年度に7回開催）における主体的な取組の経験を生かした自己評価機関および第三者諮問機関の設置を推進し、「第三者評価機関」との双方向における有機的連関性に配慮する必要がある。心気悠然として、金沢大学自身の進べく道を積極的に選択する時、いよいよ来たりである。

## 創立50周年関連行事が本格的にスタート！

### 若手研究者シンポジウムで “外から見た金沢大学の現状と問題点”を指摘



参加者からも意見が飛び出したシンポジウムの様子  
= 5月28日、大学会館大ホール（角間）で

若手研究者シンポジウム「新しい金大が動き出す。」は、5月28日、大学会館大ホール（角間）を会場に行われ、教職員・学生ら約200人が参加する中、「金沢大学に期待するもの」をテーマに開催された。

シンポジウムではまず、かつて本学に在籍した他大学の教官6名から“外から見た金沢大学の現状と問題点”の指摘がそれぞれなされ、特に「学部改組などの改革に理念がない」とのパネリストの意見には、会場の教職員や学生からも意見が盛んに飛び出し、大学の理念について白熱した議論が展開された。



開催に当たってあいさつする岡田晃学長  
= 同左



## これからの大学の役割について 立花隆氏が50周年記念の特別講演

5月30日、金沢市文化ホールで、評論家の立花隆氏を講師に招いて「二十一世紀の日本と大学の役割」と題した特別講演会が実施され、約千人の観客が集まった。

立花氏は、日本の大学における質の低下は“詰め込み型の丸暗記教育”が原因と指摘。変異の積み重ねでよりよい種が生まれるとするダーウィンの進化論によれば、暗記ばかりのクローンでは危機的な状況から抜け出すことはできないと強調した。さらに、外国の大学に比べて入学さえすれば誰でも容易に卒業できる点などを挙げ、入試や授業を改革する必要性を訴えた。



熱弁を振るう立花氏  
= 5月30日、金沢市文化ホール(金沢市高岡町)で

## 50年の歩みを克明に 金沢大学創立50周年記念展示



展示物を通して本学の過去・現在・未来にそれぞれの想いをはせる関係者  
= 5月28日、特設会場内

金沢大学創立50周年記念展示のオープニングセレモニーが、5月28日、一般公開に先駆けて附属図書館前特設会場(角間)で行われ、岡田晃学長ら大学関係者のテープカットで記念展示の開幕を祝った。

会場には、創立以来の本学の様子をとらえた写真、パネル約200点のほか、四高時代の旧式の実験器具や幕末の加賀藩の様子を克明に記した「成瀬正居日記」、50年後の本学の理想像を描いたCGアニメーションなどが展示され、来場者から感嘆の声が漏れていた。



テープカットを行う関係者(左から順に)大橋信喜美記念展示実行委員会委員長、中村厚生事務局長、中島史雄学長補佐、廣瀬幸雄学長補佐、岡田晃学長、橋本哲哉学長補佐、樋渡保秋記念行事実行委員会委員長  
= 同上、特設会場前で



## 国際シンポジウム 地球 水 人間

5月30日から6月1日にかけて、国際シンポジウム(地球-水-人間)が金沢市文化ホールで行われ、延べ800人の県内外の研究者や一般市民などが参加した。

このシンポジウムは、地球上における“水”について、地球規模で考えようと計画され、国際的に活躍している外国人研究者や、水環境に関わる研究等に取り組んでいる人々の参加を得て行われた。詰めかけた参加者からは、水や環境汚染に対する関心が一層高まり、自然に対する認識が深まったとの感想も聞かれた。

(関連記事は6ページ)



併せて会場に作られた展示・実験コーナーには多くの人が訪れた  
= 同上



初日に行われた“国際市民シンポジウム”で基調講演をするW・S・Fyfe氏(カナダのウェスタン・オンタリオ大学名誉教授)  
= 5月30日、金沢市文化ホール(金沢市高岡町)で

## 地域に開かれた大学へ 地域交流推進シンポジウム皮きり

5月14日、金沢市文化ホールで、地域交流推進シンポジウム第一弾の“金沢市民交流シンポジウム「心の教育 - やさしい心を育むために - 」”が行われ、関係者や市民など約250人が詰めかけた。最初に、福島智助教授(教育学部)が「豊かなコミュニケーションを求めて」と題した基調講演を行い、また、その後に行われたシンポジウムでは、各分野で活躍しているパネリスト4名が“心の教育”について自由に意見を述べあった。

この地域交流推進シンポジウムは、続いて6月13日に河内村で実施されており、今後は9月26日に加賀市、10月16日に内浦町でそれぞれ行われる予定。



笑いを交えながら“生きる上での原動力”となるコミュニケーションの大切さを話す福島助教授(教育学部)  
= 5月14日、金沢市文化ホール(金沢市高岡町)で



積極的に意見を述べる参加者  
= 同上



パネリスト(写真左から)井上英夫教授(法学部)、村田善則金沢市教育委員会次長、宮口優金沢市少年連盟協議会副会長、内田忠平教授(大学教育開放センター)  
= 同上



## 大学教育開放センターが 創立20周年を迎える

5月27日、「大学教育開放センター創立20周年記念式典」が、県・市町村等の機関・団体関係者ら約100人の参加の下に開催された。

同センターは、昭和51年、学内共同教育研究施設として設置され、23年を経過しているが、創立50周年記念事業と併せて、このたび記念式典を執り行った。

式では、宮下孝晴センター長(教育学部教授)が式辞を述べ、岡田晃学長が、『『あなたが主役 舞台は金沢大学』をモットーに、地域社会へのより一層の貢献を願う』と祝辞を述べた。次いで、駒沢大学前学長の奈良康明教授が、「現代の社会と仏教」と題した記念講演を行った。



大勢が集まった記念式典の様  
= 5月27日、大学教育開放センターで

## 「大学病院を取り巻く現状について」 特別講演会を開催

5月15日、杉野剛文部省高等教育局医学教育課大学病院指導室長を講師に招いて、特別講演会が実施され、土曜日にもかかわらず約350人が出席した。

杉野室長は、今回の行政改革の特徴などを述べ、大学病院が生き残るための諸問題を分かりやすく説明した。また現在、問題となっている独立行政法人化のシステムにも触れ、特に5年後に向けての目標策定に当たり、教育・研究・高度医療開発及び地域医療の貢献が必要であることなど、特色のある目標を策定してほしいと要請した。



熱心に講演する杉野室長  
= 5月15日、医学部附属病院臨床講義室で

## 5月の全国・ブロック会議

本学が当番で開催した全国又は地方ブロックの会議

### 平成11年度 全国国立大学教養教育 実施組織代表者会議

日 時: 5月13・14日

場 所: KKRホテル金沢(金沢市大手町)

出席者: 全国の教養教育実施組織の代表者及び国立大学  
教養教育担当組織協議会代表者ほか



全体会議であいさつする岡田  
晃学長  
= 5月13日、  
KKRホテル金沢で

## 本学へのお客さま(5月)



学長を表敬するシュディ・ソルタン駐日ハンガリー共和国特命全権大使御夫妻(右から2, 3人目)  
= 5月14日、学長室で



創立50周年記念モニュメントを渡る佐藤禎一文部事務次官(右)  
= 5月29日、大学会館前広場で



## 国際シンポで子どもの目から見た “環境”をポスターで募集

“国際シンポジウム”に併せて、県内の小・中・高校生を対象に環境ポスターコンクールが行われ、13校から136点もの作品が集まり、5月17日から19日までの間、理学部エントランスホール(角間)で展示された。投票は、教職員によって行われ、優秀作品は、5月30日の国際市民シン



ポジウム(金沢市文化ホールで開催)で表彰され、記念品が贈られた。

喜びのポスターコンクール入賞者  
= 5月30日、金沢市文化ホールで

## ケヤキ並木を大学のシンボルに! 法文経東京同窓会が記念碑を設置

8年前、法文経東京同窓会が、角間キャンパスに植えたケヤキ並木は現在、青葉に覆われてキャンパスに彩りを添えている。この並木が母校のシンボルとなるようにと願いを込めた記念碑が、このたび、並木横に設置され、5月29日、関係者や学生など約50人が参加して除幕式が行われた。

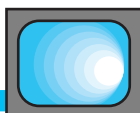


「北の都並木」の碑と名付けられた記念碑を除幕する関係者  
= 5月29日、法経棟横で



# 紹 介

# Introduction



**KUPIS** (キューピーズ) **情報**

金沢大学ホームページ

本学「公式ホームページ」の面白い情報を紹介するコーナーです。

その7

パネル展  
金沢大学の歩み

クリック順

トップページ

創立50周年記念  
事業ごあんない

写真集「写真で  
見る50年の歩み」

創立50周年記念行事が続々と催される中、机に居ながらにして本学の歩みを目で見ることができるページがある。百数点ある明治43年から平成7年までの写真は、すべて卒業生や元教職員の方々から寄せられた貴重なもので、当時の今にも動きだしそうな大学生活の様子が生き生きと切り取られている。

これらのパネルは、実際に「創立50周年記念展示」(6月11日終了)で展示され好評を博した。

記念展示をご覧になれなかった方、一見の価値あり。

アドレスは <http://kanazawa-u.ac.jp>



外科施術場の様子(明治43年卒業アルバムから)



## 学長候補者選挙日程

[第1回学長候補者選挙管理委員会決定(5月25日開催)]  
[第1回学長候補者推薦委員会了承(第2回推薦委員会開催日変更)]  
平成11年

6月 1日(火) 選挙公示  
6月 2日(水) この日までに、推薦委員会委員を学長に届出  
6月 8日(火) 第1回推薦委員会  
6月21日(月) 第2回推薦委員会  
6月22日(火) 推薦候補者を選挙管理委員会へ通知  
6月23日(水) 第2回選挙管理委員会  
6月24日(木) 選挙資格者名簿の縦覧(6月28日まで)  
6月28日(月) 推薦候補者の公示  
6月30日(水) この日までに、投票立会人及び開票立会人を選挙管理委員会へ届出(各学部及びがん研究所から)  
7月 7日(水) 第1回投票 10時～13時  
第3回選挙管理委員会  
7月 8日(木) 第2回投票 10時～13時  
第4回選挙管理委員会  
7月 9日(金) 第3回投票 10時～13時  
第5回選挙管理委員会  
(当選人が決定した日に、臨時評議会を開催する。)

## 国立大学(初) 英文を含む証明書の全面自動発行化

このたび、従来自動発行していた在学、在寮、学割の各証明書に加え、卒業・修了見込、成績(学部のみ)、在学期間、免許資格取得見込の各証明書を全学部・全研究科・全学年一斉に、英文を含めて自動発行化するとともに、学生証の磁気カード化、学生の機械操作の暗証番号変更機能も備え、広く自動化が前進した。また、証明書の封入廃止、成績証明は卒業見込併記版も選択可とする等、自動発行化推進で学生サービスや合理化を向上させながらも、本人への情報開示、繁忙期の混雑緩和にも配慮している。



《利用可能時間》  
平日 8時～18時

利用開始式で操作を体験する岡田晃学長と中村厚生事務局長(右)  
= 5月26日、理学部エントランスホールで

### 編集後記

北陸地方も梅雨入り宣言を発表したが、お陰様で5月29日(土)は夏日のような良い天候に恵まれ、トップニュースで取り上げているとおり、本学の創立50周年記念式典・祝賀会が約600人の来賓を迎えて盛大に挙行されました。

また、式典の外にも沢山の記念事業が実施され、多くの参加者で会場も埋まりました。

## 馬淵宏教授(医学部)が 第52回中日文化賞を受賞

第52回中日文化賞の贈呈式が5月28日、中日新聞本社(名古屋市)で行われ、本学から医学の分野で優れた業績を挙げた馬淵宏教授(医学部)が受賞した。

このたびの受賞は、同教授の「高コレステロール血症の基礎・臨床研究」が認められたもの。



賞状を受け取る馬淵教授(右)  
= 5月28日、中日新聞本社で

## 科学技術庁の「地域先導研究」として採択 長野勇教授(工学部)に研究費

石川県が科学技術庁の平成11年度「地域先導研究」として提案していた「地域産業の発展に寄与する電磁波技術に関する研究」がこのほど正式に採択され、本学工学部の長野勇教授が地域中核オーガナイザーとして研究推進に当たる。産業機器への影響など電磁波による環境問題を総合的に解明し、



研究テーマの説明をする長野教授  
= 5月27日、石川県地場産業振興センター内(財)石川県産業創出支援機構(金沢市戸水町)で

電磁波を利活用する技術を開発する研究内容で、3年にわたって毎年約一億円の研究費が交付される。

今回の、アカンサス ニュースでは記念行事を全て紹介することが出来ないのが残念ですが、ここにその一部を紹介させていただきます。

キャンパス内を歩く学生も衣替えし、梅雨の晴れ間の日差しも一段と厳しくなりますが教職員の皆様にはくれぐれもお体に気を付けて今年の夏を乗り切りましょう。

(山崎)





# 祝 1949 - 1999 創立50周年 50

— 思い思いに50周年を祝う姿を集めてみました。 —

つもる話に花が咲く



佐藤文部事務次官を囲んで



乾杯!



四高寮歌を歌う四高同窓生



交流協定校関係者

## 彩りを添えた 学生サークル



金沢大学合唱団



金沢大学フィル  
ハーモニ管弦楽団



Modern Jazz Society  
(M・J・S)



金沢大学竹系会



平成11年6月25日発行  
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町  
金沢大学庶務部庶務課研究協力・広報係

TEL 076-264-5019  
FAX 076-234-4010

本紙の内容、その他本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ 愛称「KUPIS」(キュービーズ)」  
(アドレス = <http://www.kanazawa-u.ac.jp>) でもご覧いただけます。  
本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail) = [general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp](mailto:general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp) でも受け付けています。

